

平成19(2007)年度

埋蔵文化財緊急発掘調査概報

垂水遺跡
豊嶋郡条里遺跡
垂水中遺跡
垂水南遺跡
円塚古墳
都呂須遺跡

平成20(2008)年3月

吹田市教育委員会

序

吹田市では、昭和49(1974)年度に国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査を実施して以来、これまでに市内各所において数多くの発掘調査を実施してまいりました。これらの調査成果は博物館などでできる限り市民の皆様に還元できるように努めています。

平成19(2007)年度においては、国庫補助事業として市内に所在する遺跡に対して5件(12月末現在)の発掘調査を実施しました。これらの調査は住宅の建築工事を契機として実施したもので、調査に際しては事業者をはじめとした多くの方々のご協力を得ました。本市教育委員会においてはこれからも文化財の保護行政に、より一層取り組んでまいりたいと考えておりますので、市民の皆様方におかれましても埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対して、今後とも深いご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20(2008)年3月

吹田市教育委員会
教育長 田口省一

例　　言

1. 本書は平成19年度国庫補助事業として実施した、垂水遺跡、垂水南遺跡、円塚古墳、都呂須遺跡(12月末現在)の緊急発掘調査をまとめたものである。また、平成18年度に国庫補助事業として実施した、垂水遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水中遺跡についても併せて報告する。
2. 発掘調査地点は次のとおりである。

(平成18年度)

垂　水　遺　跡　吹田市垂水町1-790-1
豊　嶋　郡　条　里　遺　跡　吹田市泉町2-3138-5
垂　水　中　遺　跡　吹田市垂水町1-852-4の一部

(平成19年度)

垂水遺跡(第1期)　吹田市垂水町1-802-3
垂　水　南　遺　跡　吹田市垂水町3-954-30
円　塚　古　墳　吹田市片山町4-2951-5
垂水遺跡(第2期)　吹田市円山町60-57
都　呂　須　遺　跡　吹田市内本町1-812-7

3. 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北4丁目10番1号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。
4. 本文の執筆は、第1・2(1・2)・3・7章を西本安秀が、第2(3)・4～6章を賀納章雄が行った。
5. 図中の方位は磁北を示し、標高はT.P.(東京湾標準溝位)を示す。
6. 発掘調査において、溝川裕次氏、木田憲一氏、木田桂子氏、上田義一氏、石田一枝氏、廣澤克仁氏、中井洗太郎氏、北村和久氏、池辺一郎氏、池辺理佐氏をはじめ、多くの方々の協力を得ました。記して謝意を表します。

発掘調査参加者名簿

調　査　主　体　吹田市教育委員会

調　査　指　導　大阪府教育委員会文化財保護課

調　査　担　当　吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係　西本安秀・賀納章雄

調　査　補　助　員　秋山芳恵・木船安紀子・高井明美・林裕子

目 次

第1章	平成19(2007)年度埋蔵文化財発掘調査の契機	1
第2章	垂水遺跡の発掘調査	3
第3章	豊嶋郡条里遺跡の発掘調査	7
第4章	垂水中遺跡の発掘調査	8
第5章	垂水南遺跡の発掘調査	9
第6章	円塚古墳の発掘調査	10
第7章	都呂須遺跡の発掘調査	11

挿 図 目 次

第1図	発掘調査地位位置図	2
第2図	垂水遺跡発掘調査地周辺図	3
第3図	調査区配図	4
第4図	調査区断面図	4
第5図	調査区配置図	5
第6図	調査区断面図	5
第7図	調査区配置図	6
第8図	調査区断面図	6
第9図	豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図	7
第10図	調査区配置図	7
第11図	調査区断面図	7
第12図	垂水中遺跡及び垂水南遺跡発掘調査地周辺図	8
第13図	調査区配置図	8
第14図	調査区断面模式図	8
第15図	調査区配置図	9
第16図	調査区断面模式図	9
第17図	円塚古墳発掘調査地周辺図	10
第18図	調査区配置図	10
第19図	調査区断面模式図	10
第20図	都呂須遺跡発掘調査地周辺図	11
第21図	調査区配置図	11
第22図	調査区断面図	11

図 版 目 次

- 図版 1 垂水遺跡〔平成18(2006)年度〕 1
- 図版 2 垂水遺跡〔平成18(2006)年度〕 2
- 図版 3 垂水遺跡〔平成19(2007)年度〕・第1期 1
- 図版 4 垂水遺跡〔平成19(2007)年度〕・第1期 2
- 図版 5 垂水遺跡〔平成19(2007)年度〕・第1期 3
- 図版 6 垂水遺跡〔平成19(2007)年度〕・第2期
- 図版 7 豊嶋郡条里遺跡〔平成18(2006)年度〕 1
- 図版 8 豊嶋郡条里遺跡〔平成18(2006)年度〕 2
- 図版 9 垂水中遺跡〔平成18(2006)年度〕
- 図版10 垂水南遺跡
- 図版11 円塚古墳
- 図版12 都呂須遺跡 1
- 図版13 都呂須遺跡 2

第1章 平成19(2007)年度埋蔵文化財発掘調査の契機

平成19(2007)年度は、垂水遺跡、垂水南遺跡、円塚古墳、都呂須遺跡の4遺跡5件(12月末現在)の発掘調査を住宅建築工事に伴い実施した。

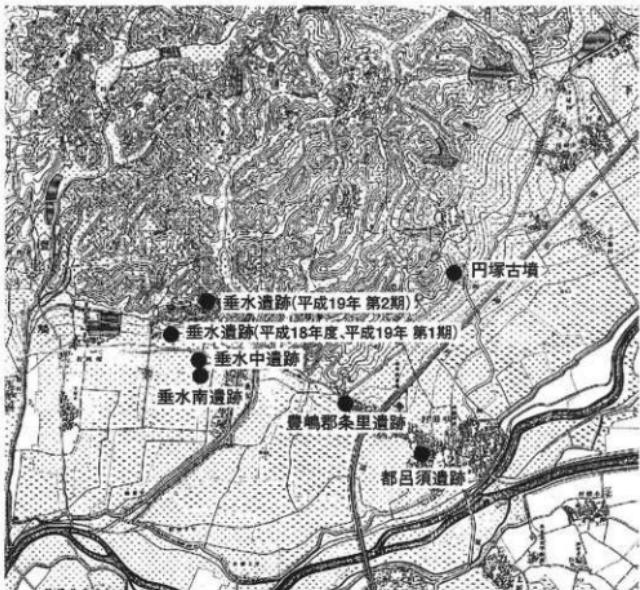
垂水遺跡は円山町、垂水町1・2丁目に所在する、弥生時代～中世の複合遺跡である。昭和48(1973)～51(1976)年に本格的な発掘調査が行われた結果、垂水遺跡は弥生時代前期から始まり、中期末から後期にかけて発展し、古墳時代直前には終焉を迎えること、出土土器の中に在地産以外で河内系及び近江系の土器が少量含まれ、他地域との交流が認められること、遺跡の性格としては弥生時代の高地性集落であることが判明した。それ以後、昭和63(1988)年に丘陵南裾部で行われた調査では遺存状態の良好な弥生時代の遺物が確認され、平成10(1998)年の調査では、焙解途上の痕跡のある古墳時代の鏡の破片が出土し、古墳時代の铸造関連施設の存在が想定された。こうした一連の調査で、垂水遺跡の弥生時代の集落は丘陵上にのみ存在するのではなく、丘陵裾～平地部にも展開すること、その集落は弥生時代中期という早い段階に成立し、古墳時代前期にも継続すること、しかも近江系及び東海系の土器が顕著であることなどが明らかとなった。また、昭和55(1980)～56(1981)年に垂水神社東側の丘陵裾部で行われた調査では、宝塔文の軒丸瓦など平安時代末の遺物が出土し、平安時代～中世にかけても垂水神社や集落関連構造の展開が想定できる。今回の調査地は2か所あり、第1期調査地(垂水町1-802-3)は垂水遺跡の南西方(周辺地)に位置し、平成19(2007)年4月26日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。また、第2期調査地(円山町60-57)は垂水遺跡の北東部に位置し、平成19(2007)年9月5日に住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

垂水南遺跡は垂水町3丁目、江坂町1丁目に所在する、弥生時代～中世の複合遺跡である。昭和41(1966)年に区画整理事業に伴う管理設工事の際に発見され、これまで五十数次に及ぶ発掘調査が行われた。遺跡の中心となっているのは古墳時代の集落跡で、標高約1.5m付近の低地に前期～中期の竪穴式建物、掘立柱建物等の建物跡、土坑、井戸、溝などが検出された。出土遺物は日常容器として使用された土師器が多いが、その中に東海系・山陰系・吉備系等の在地産以外の土器や韓式系土器が含まれ、古墳時代の人々の交流の一端を示すものと考えられる。また、滑石製の玉類と未成品、原石等も出土し、玉造関係の生産も行われたことが確認されている。近年の調査成果としては遺跡内の数ヶ所で出土した鉱滓を分析した結果、これら的一部分は鍛冶作業の後半段階で排出される鉄の鉱滓で、鉄製品の製造では最終段階のものであることがわかり、古墳時代中期に鍛冶生産を行っていたことが判明した。平安時代には、河道、木組み等の遺構が検出され、遺物は日常容器である土師器、須恵器などの他、綠釉陶器、銅鏡(和銅開珎・萬年通寶・隆平永寶)等が出土している。特に、第5次調査で検出された河道からは「垂庄」等と書かれた墨書き土器が出土し、弘仁3(812)年に成立した東寺領垂水庄に関連した遺物であることが明らかとなった。今回の調査地は垂水南遺跡の推定範囲の北東方(周辺地)に位置し、平成19(2007)年7月27日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

円塚古墳は千里丘陵上の標高約20m付近に所在した。18世紀前半刊行の『五畿内志』(並河誠所ほか編)に「円塚 片山村にあり。」とあり、18世紀末刊行の『摂津名所図会』(秋里簾島著)に「円塚(片山村の田圃の中にあり。由緒不詳。塚の形を以って名とす。荒塚なり)」とあり、江戸時代には由緒不明ながらも円塚と呼ばれる塚の存在が知られていたが、現状では遺存しておらず、実態は不明である。今回の調査は円塚古墳に位置し、平成19(2007)年8月9日に住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

都呂須遺跡は弥生時代～中世にかけての遺跡である。これまでの調査で中世の溝・土坑、近世の土坑・溝群等を確認している。今回の調査は都呂須遺跡の北西部に位置し、平成19(2007)年9月10日に住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

なお、本概報においては、平成18年度に実施した発掘調査のうち、平成19(2007)年2月9日に調査を実施した垂水遺跡(垂水町1-790-1)、平成19(2007)年3月13日に調査を実施した豊嶋郡条里遺跡(泉町2-3138-5)、平成19(2007)年3月22日に調査を実施した垂水中遺跡(垂水町1-852-4の一部)の調査報告も併せて掲載する。



第1図 発掘調査地点位置図 (1:40,000 明治18(1885)年測量地図)

第2章 垂水遺跡の発掘調査

1. 垂水町1-790-1における調査 [平成18(2006)年度]

(1) 調査の経過

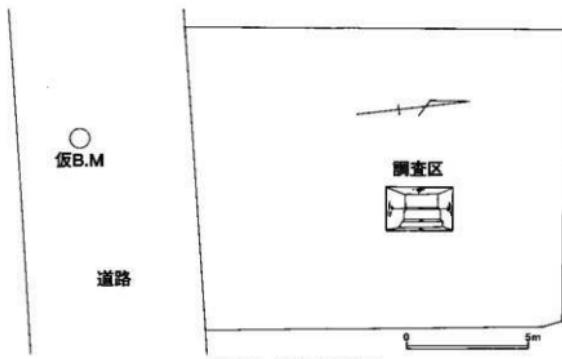
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成19(2007)年2月9日に調査区1ヶ所(約4.9m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

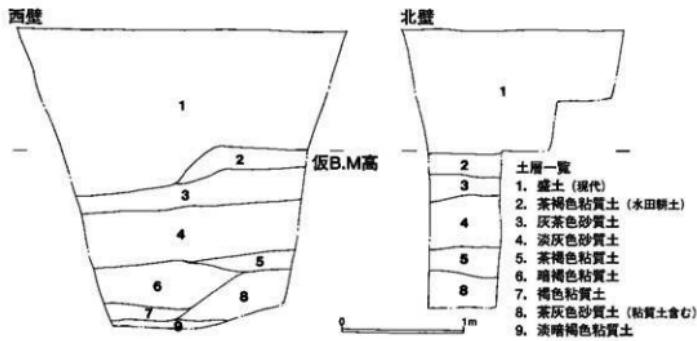
当調査区の基本層序は、I層 盛土(現代)、II層 茶褐色粘質土(水田耕土)、III層 灰茶色砂質土、淡灰色砂質土、IV層 茶褐色粘質土、暗褐色粘質土、褐色粘質土、茶灰色砂質土(粘質土含む)、淡暗褐色粘質土である。地表下約2.5mまで掘削したが、これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第2図 垂水遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第3図 調査区配置図



第4図 調査区断面図

2. 垂水町1-802-3における調査 [平成19(2007)年度 第1期]

(1) 調査の経過

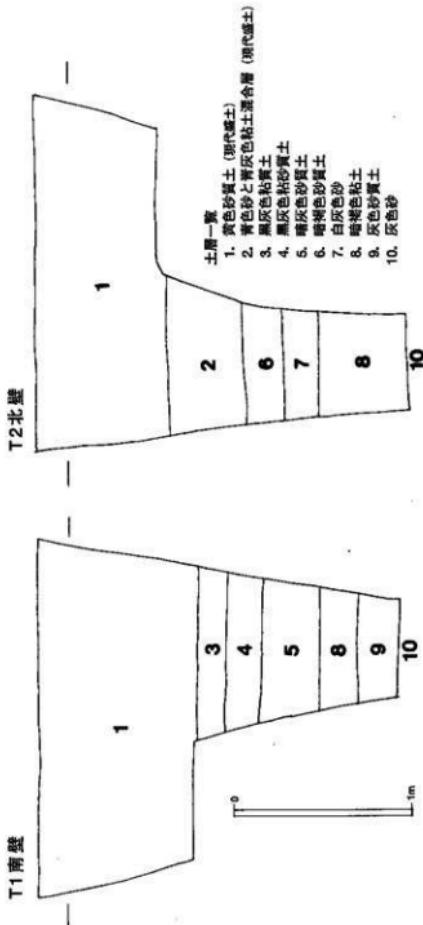
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成19(2007)年4月26日に調査区2ヶ所(合計約10.6m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序は、Ⅰ層 黄色砂質土(現代盛土)、青色砂と青灰色粘土混合層(現代盛土)、Ⅱ層 黒灰色粘質土、黒灰色粘砂質土、Ⅲ層 暗灰色砂質土、暗褐色砂質土、白灰色砂、暗褐色粘土、灰色砂質土、Ⅳ層 灰色砂で地表下約2.1mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第5图 调查区配置图



第6图 调查区断面图

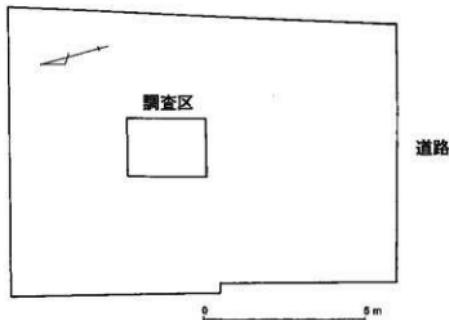
3. 円山町60-57における調査 [平成19(2007)年度 第2期]

(1) 調査の経過

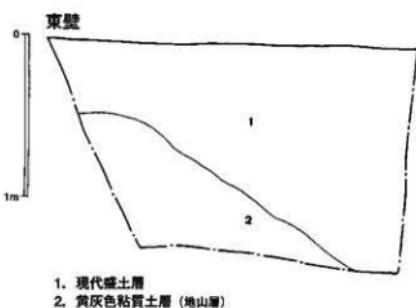
今回の調査は、円山町60-57において住宅建築に伴い実施したものである。平成19(2007)年9月5日に調査区1ヶ所(約45m²)を設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

調査区を掘削したところ、現代盛土層直下において地山層である黄灰色粘質土層の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第7図 調査区配置図



第8図 調査区断面図

第3章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

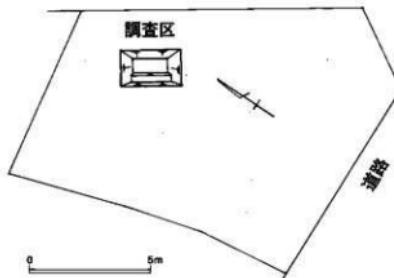
今回の調査は泉町2-3138-5において住宅の建築に伴い、平成19(2007)年3月13日に調査区1ヶ所(約3.8m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

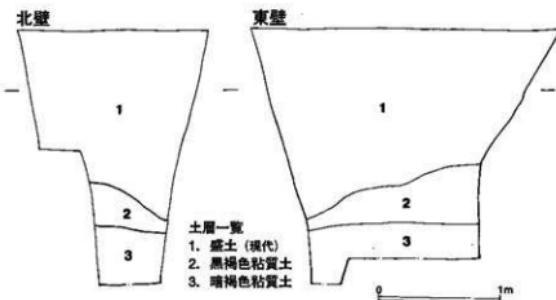
当調査区の基本層序は、I層 盛土(現代)、II層 黒褐色粘質土、暗褐色粘質土で、地表下約2.1mまでの状況を確認したが、これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第9図 豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第10図 調査区配置図



第11図 調査区断面図

第4章 垂水中遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

今回の調査は、垂水町1-852-4において住宅建築に伴い実施したものである。平成19(2007)年3月22日に調査区1ヶ所(2.6m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

調査区を掘削したところ、現代盛土・旧表土層以下、淡青灰色砂層(第3層)、茶灰色粘土層(第4層)、暗灰色粘土層(第5層)、暗灰色粘土と黒灰色粘土の混合層(第6層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第12図 垂水中遺跡及び垂水南遺跡発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第13図 調査区配置図



第14図 調査区断面模式図

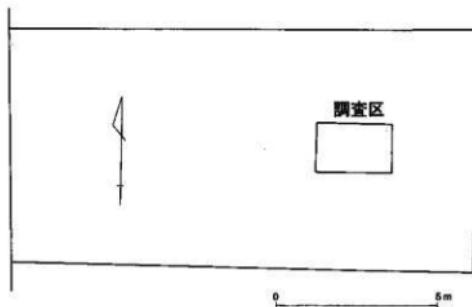
第5章 垂水南遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

今回の調査は、垂水町3-954-30において住宅建築に伴い実施したものである。平成19(2007)年7月27日に調査区1ヶ所(約3.5m²)を設定し、重機を用いて実施した。

2. 調査の成果

調査区を掘削したところ、現代盛土層・旧耕土層以下、淡灰色砂(鉄分含む)層(第3層)、暗灰色粘質土層(第4層)、暗灰色砂質土層(第5層)、暗灰色粘質土(植物質混じる)層(第6層)、淡黒灰色粘質土(植物質混じる)層(第7層)、淡黒灰色砂質土(植物質混じる)層(第8層)、黒灰色粘土(植物質混じる)層(第9層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第15図 調査区配置図



第16図 調査区断面模式図

第6章 円塚古墳の発掘調査

1. 調査の経過

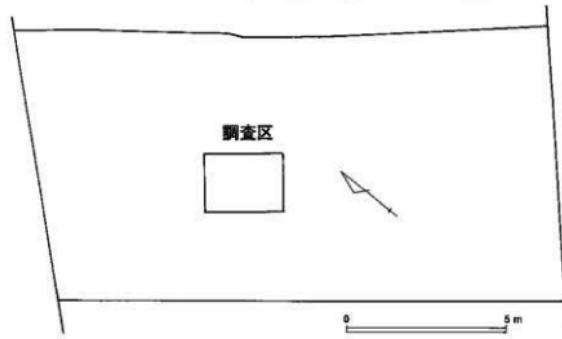
今回の調査は、片山町4-2951-5において住宅建築に伴い実施したものである。平成19(2007)年8月9日に調査区1ヶ所(約4.5m²)を設定し、重機を用いて実施した。

2. 調査の成果

調査区を掘削したところ、表土層以下、橙灰色砂質土層(第2層)、黄灰色砂質土層(第3層)、黄灰色砂質土(茶色がかる)層(第4層)、茶灰色砂質土層(第5層)、茶灰色砂質土(やや暗)層(第6層)、茶灰色砂質土(マンガン含む)層(第7層)、黄灰色粘質土(マンガン含む)層(第8層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第17図 円塚古墳発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第18図 調査区配置図



第19図 調査区断面模式図

第7章 都呂須遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

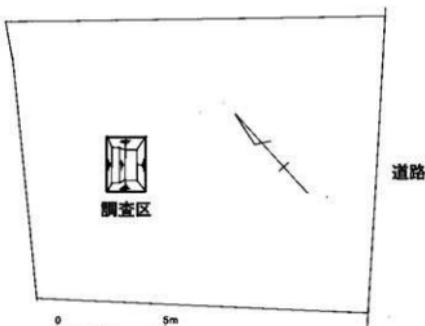
今回の調査は内本町1-812-7において、住宅の建築に伴い、平成19(2007)年9月10日に調査区1ヶ所(約45m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

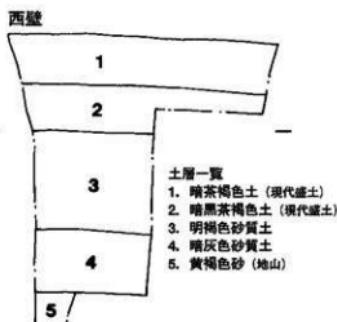
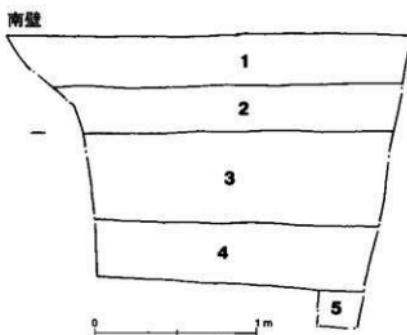
当調査区の基本層序は、I層 暗茶褐色土、暗黒茶褐色土(現代盛土)、II層 明褐色砂質土、III層 暗灰色砂質土、IV層 黄褐色砂(地山)で地表下約1.6mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第20図 都呂須遺跡発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第21図 調査区配置図



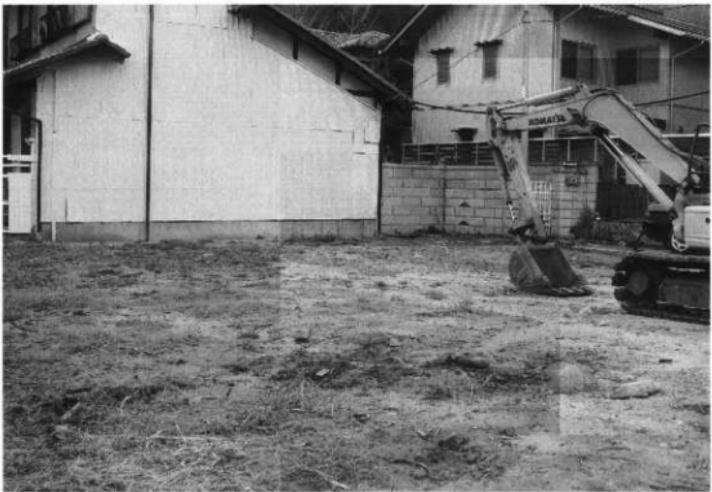
第22図 調査区断面図

報告書抄録

ふりがな 書名	へいせい19(2007)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはっくつちょうさがいほう 平成19(2007)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	垂水遺跡 豊嶋郡条里遺跡 垂水中遺跡 垂水南遺跡 円塚古墳 都呂須遺跡
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀・賀納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町2丁目3番40号 TEL (06)6384-1231
発行年月日	西暦2008年3月31日

ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所 在地	コード		北緯 °.′.″	東經 °.′.″	調査期間	調査面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
たるみいせき 垂水遺跡	すいた したるみいせき 吹田市垂水町1-790-1	27205	86	34° 45'59"	135° 30'4"	20070209	4.9	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいた したるみいせき 吹田市垂水町1-802-3	27205	86	34° 45'59"	135° 30'4"	20070426	10.6	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいた し まるやまいせき 吹田市円山町60-57	27205	86	34° 46'10"	135° 30'12"	20070905	4.5	建物の 建築
てしまぐんじょりいせき 豊嶋郡条里遺跡	すいた し しまぐんじょりいせき 吹田市泉町2-3138-5	27205	95	34° 45'34"	135° 30'51"	20070313	3.8	建物の 建築
たるみいせき 垂水中遺跡	すいた したるみいせき 吹田市垂水町1-852-4	27205	131	34° 45'51"	135° 30'13"	20070322	2.6	建物の 建築
たるみいせき 垂水南遺跡	すいた したるみいせき 吹田市垂水町3-954-30	27205	88	34° 45'49"	135° 30'13"	20070727	3.5	建物の 建築
まるづかこふん 円塚古墳	すいた し からやまいせき 吹田市片山町4-2951-5	27205	72	34° 46'18"	135° 31'31"	20070809	4.5	建物の 建築
とろすいせき 都呂須遺跡	すいた し うちほんまち 吹田市内本町1-812-7	27205	91	34° 45'31"	135° 31'23"	20070910	4.5	建物の 建築

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・古墳	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・古墳	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・古墳	なし	なし	なし
豊嶋郡条里遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし
垂水中遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
垂水南遺跡	集落遺跡	古墳・平安	なし	なし	なし
円塚古墳	集落遺跡	古墳	なし	なし	なし
都呂須遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし



調査地近景（南から）



調査区（南から）

図版 2 垂水遺跡〔平成18(2006)年度〕

2



調査区（東から）



調査区断面細部（東から）



調査地近景（北から）



T1 調査区（南東から）

図版 4 垂水遺跡 [平成19(2007)年度・第1期]

2



T 1 調査区（東から）



T 2 調査区（東から）



T 2 調査区（東から）



T 2 調査区断面細部
(南から)

図版
6

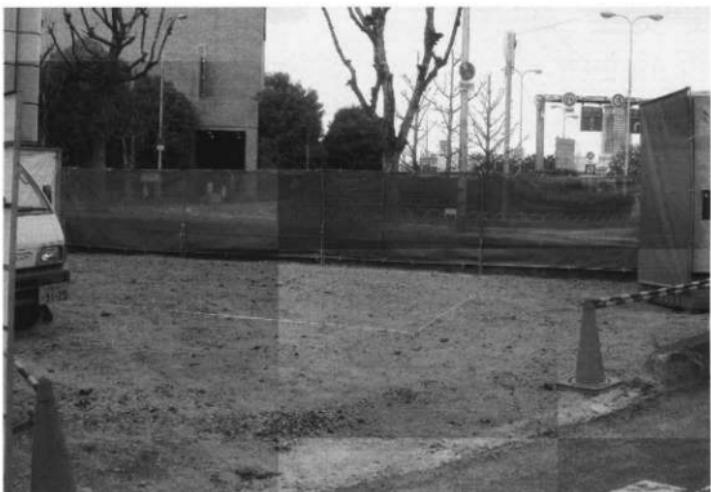
垂水遺跡〔平成19(2007)年度・第2期〕



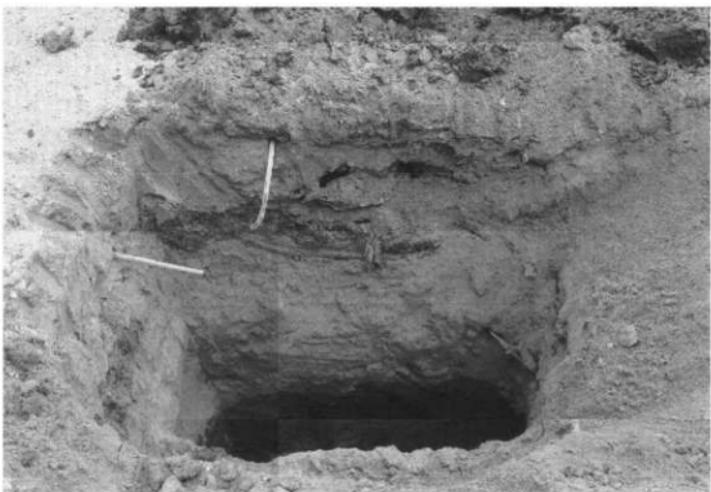
調査区近景（南から）



調査区（西から）



調査区近景（南から）



調査区（西から）

図版8

豊嶋郡条里遺跡〔平成18(2006)年度〕

2



調査区（南から）



調査区断面（西から）

図版9 垂水中遺跡 [平成18(2006)年度]



調査区近景（南東から）



調査区断面（東から）



調査区近景（北東から）



調査区断面（北から）



調査区近景（南東から）



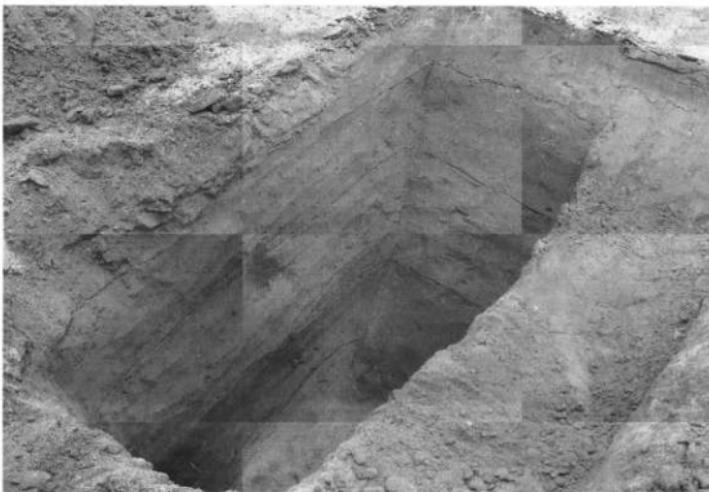
調査区断面（西から）

図版12

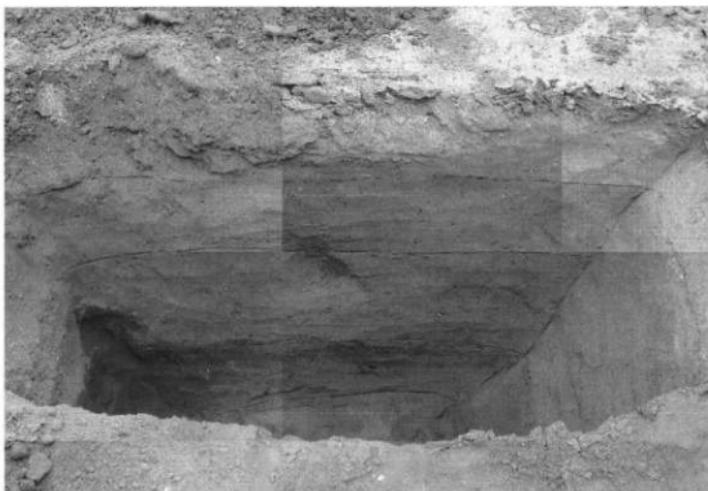
都呂須遺跡1



調査区近景（南から）



調査区断面（北西から）



調査区南壁断面
(北から)



調査区西壁断面
(東から)

平成19(2007)年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

垂水遺跡
豊嶋郡条里遺跡
垂水中遺跡
垂水南遺跡
円塚古墳
都呂須遺跡

平成20(2008)年3月31日
編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会

この概報は300部作成し、一部当たりの単価は630円です。